

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成28年6月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 28 年 6 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	6月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

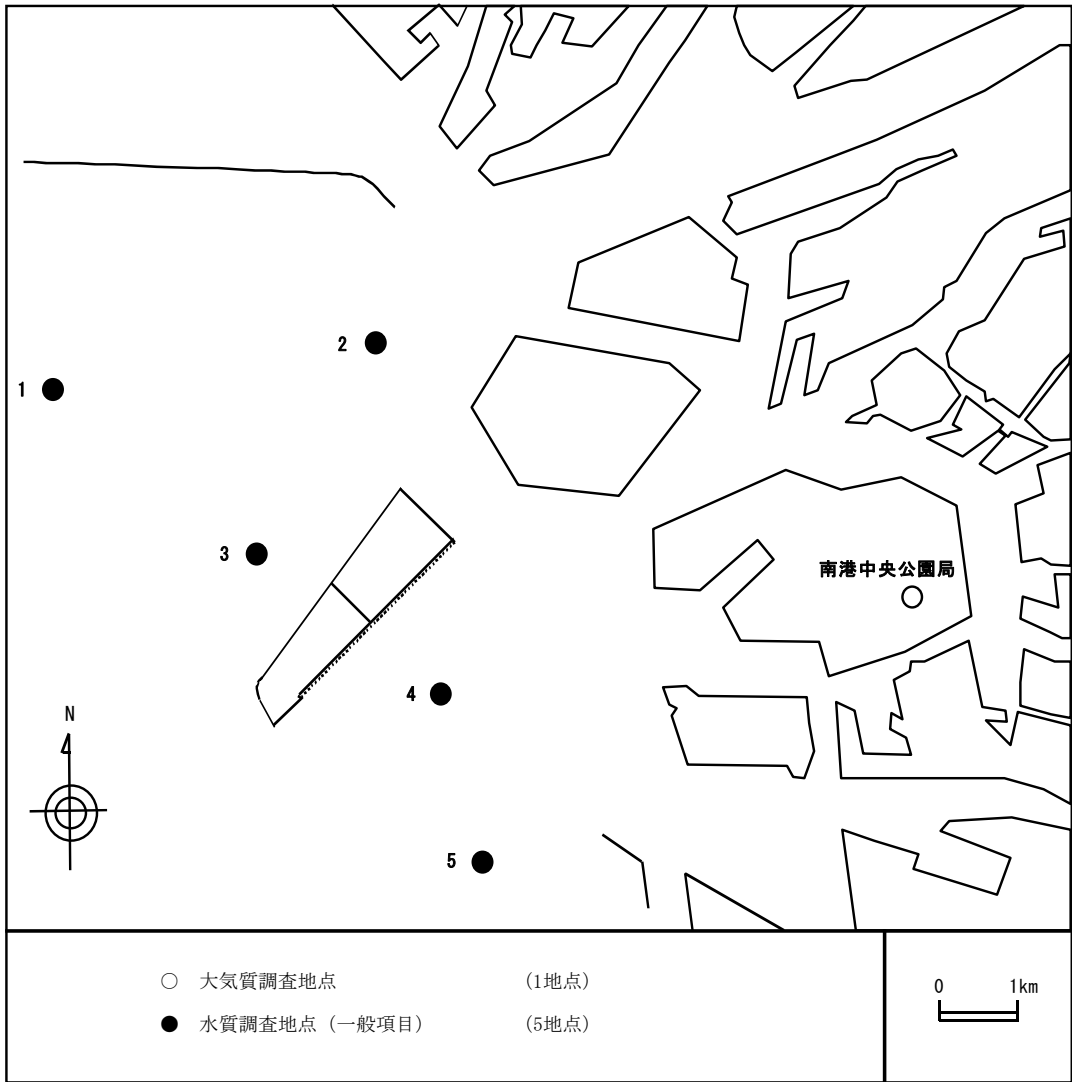
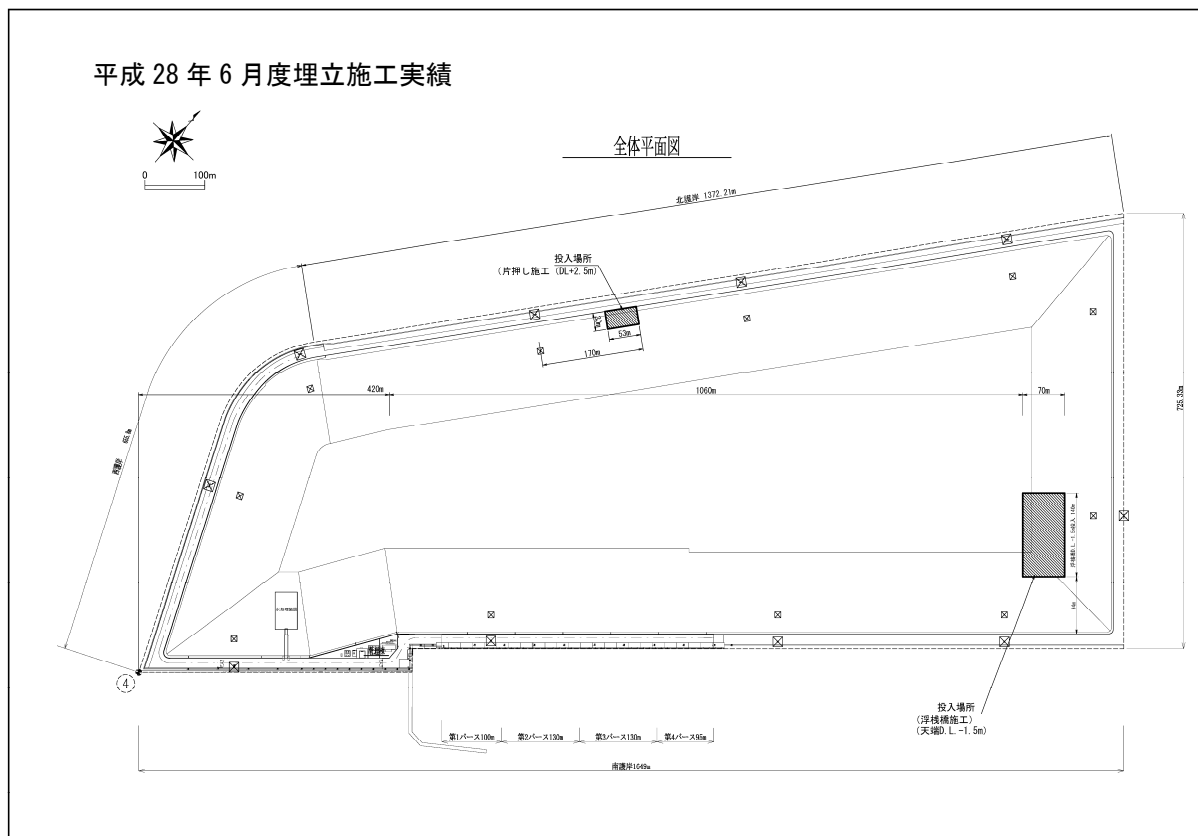


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

平成 28 年 6 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
3,762,293	26.9

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)



### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.015ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.022ppm であった。また、日平均値の最高値は0.045ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.028mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は0.041mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.075mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.3、下層で7.9～8.0 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で3.6～4.7mg /L の範囲、下層で1.6～2.1mg /L であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (4.3mg/L)、調査地点 2 (3.9mg/L)、調査地点 3 (3.6mg/L)、調査地点 4 (4.7mg/L)、調査地点 5 (4.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で7.9～12mg /L、下層で5.2～6.3mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で0.42～0.68mg/L、下層で0.28～0.34mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点におい

て環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.65mg/L)、調査地点 4 (0.68mg/L)、調査地点 5 (0.64mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.047~0.093mg/L、下層で 0.037~0.064mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4、5 において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 2、4 において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.068mg/L)、調査地点 2 (0.073mg/L)、調査地点 4 (0.093mg/L)、調査地点 5 (0.090mg/L)、下層における調査地点 2 (0.064mg/L)、調査地点 4 (0.057mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 6) 濁度

濁度は上層で 3.6~7.0 度(カリン)、下層で 3.0~4.6 度(カリン)の範囲であった。

#### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~5mg/L、下層で 3~5mg/L の範囲であった。

#### 8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 10.0~26.0  $\mu$ g/L、下層で 0.3~0.8  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成28年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	1
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

二酸化硫黄測定結果 [平成28年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (水)	0.005	0.009
	2 (木)	0.004	0.007
	3 (金)	0.006	0.011
	4 (土)	0.006	0.009
	5 (日)	0.004	0.010
	6 (月)	0.006	0.012
	7 (火)	0.005	0.010
	8 (水)	0.005	0.011
	9 (木)	0.005	0.010
	10 (金)	0.006	0.012
別	11 (土)	0.006	0.011
	12 (日)	0.003	0.005
	13 (月)	0.003	0.006
	14 (火)	0.006	0.012
	15 (水)	0.005	0.008
	16 (木)	0.004	0.009
	17 (金)	0.005	0.010
	18 (土)	0.007	0.015
	19 (日)	0.005	0.010
	20 (月)	0.006	0.009
値	21 (火)	0.005	0.012
	22 (水)	0.006	0.008
	23 (木)	0.003	0.006
	24 (金)	0.004	0.008
	25 (土)	0.003	0.005
	26 (日)	0.005	0.009
	27 (月)	0.006	0.011
	28 (火)	0.006	0.015
	29 (水)	0.005	0.010
	30 (木)	0.007	0.014
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.015	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成28年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.001	0.003
	2 (木)	0.001	0.003
	3 (金)	0.003	0.011
	4 (土)	0.001	0.003
	5 (日)	0.001	0.002
	6 (月)	0.002	0.007
	7 (火)	0.006	0.025
	8 (水)	0.002	0.007
	9 (木)	0.006	0.044
	10 (金)	0.002	0.005
別	11 (土)	0.001	0.002
	12 (日)	0.001	0.003
	13 (月)	0.004	0.014
	14 (火)	0.003	0.014
	15 (水)	0.003	0.012
	16 (木)	0.008	0.021
	17 (金)	0.001	0.003
	18 (土)	0.002	0.009
	19 (日)	0.001	0.001
	20 (月)	0.006	0.023
値	21 (火)	0.004	0.014
	22 (水)	0.008	0.031
	23 (木)	0.006	0.019
	24 (金)	0.013	0.030
	25 (土)	0.002	0.008
	26 (日)	0.001	0.002
	27 (月)	0.004	0.022
	28 (火)	0.007	0.027
	29 (水)	0.014	0.047
	30 (木)	0.014	0.046
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.014	
1時間値の最高値 (ppm)		0.047	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



二酸化窒素測定結果 [平成28年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.015	0.026
	2 (木)	0.015	0.025
	3 (金)	0.025	0.042
	4 (土)	0.023	0.037
	5 (日)	0.009	0.015
	6 (月)	0.023	0.047
	7 (火)	0.029	0.047
	8 (水)	0.023	0.040
	9 (木)	0.022	0.037
	10 (金)	0.025	0.051
別	11 (土)	0.017	0.027
	12 (日)	0.010	0.025
	13 (月)	0.018	0.033
	14 (火)	0.026	0.049
	15 (水)	0.022	0.041
	16 (木)	0.027	0.033
	17 (金)	0.020	0.039
	18 (土)	0.023	0.046
	19 (日)	0.016	0.027
	20 (月)	0.026	0.034
値	21 (火)	0.020	0.043
	22 (水)	0.034	0.051
	23 (木)	0.017	0.033
	24 (金)	0.034	0.054
	25 (土)	0.012	0.024
	26 (日)	0.010	0.027
	27 (月)	0.026	0.044
	28 (火)	0.032	0.056
	29 (水)	0.045	0.079
	30 (木)	0.028	0.045
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.022	
日平均値の最高値 (ppm)		0.045	
1時間値の最高値 (ppm)		0.079	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		1	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成28年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (水)	0.016	93.4	0.029
	2 (木)	0.017	91.3	0.028
	3 (金)	0.028	87.9	0.050
	4 (土)	0.024	94.9	0.039
	5 (日)	0.010	89.9	0.017
	6 (月)	0.025	91.6	0.054
	7 (火)	0.035	83.4	0.072
	8 (水)	0.025	92.1	0.041
	9 (木)	0.028	78.9	0.081
	10 (金)	0.027	93.2	0.056
別	11 (土)	0.018	94.0	0.029
	12 (日)	0.011	90.2	0.026
	13 (月)	0.023	80.7	0.044
	14 (火)	0.029	91.0	0.052
	15 (水)	0.025	87.4	0.053
	16 (木)	0.035	77.6	0.054
	17 (金)	0.021	94.2	0.040
	18 (土)	0.025	93.3	0.055
	19 (日)	0.017	94.1	0.028
	20 (月)	0.032	81.6	0.050
値	21 (火)	0.024	84.9	0.049
	22 (水)	0.041	81.5	0.082
	23 (木)	0.023	75.3	0.042
	24 (金)	0.047	72.0	0.084
	25 (土)	0.014	84.6	0.028
	26 (日)	0.011	90.3	0.028
	27 (月)	0.029	87.2	0.061
	28 (火)	0.039	82.3	0.076
	29 (水)	0.059	76.7	0.113
	30 (木)	0.042	67.2	0.091
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		716		
月平均値 (ppm)		0.027		
日平均値の最高値 (ppm)		0.059		
1時間値の最高値 (ppm)		0.113		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		84.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) /$$

$$(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成28年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (水)	0.029	0.064
	2 (木)	0.019	0.043
	3 (金)	0.022	0.046
	4 (土)	0.027	0.043
	5 (日)	0.019	0.035
	6 (月)	0.031	0.052
	7 (火)	0.024	0.042
	8 (水)	0.024	0.042
	9 (木)	0.022	0.039
	10 (金)	0.028	0.043
別	11 (土)	0.031	0.051
	12 (日)	0.024	0.045
	13 (月)	0.015	0.035
	14 (火)	0.028	0.051
	15 (水)	0.025	0.042
	16 (木)	0.020	0.033
	17 (金)	0.036	0.064
	18 (土)	0.037	0.061
	19 (日)	0.041	0.075
	20 (月)	0.039	0.066
値	21 (火)	0.021	0.046
	22 (水)	0.040	0.059
	23 (木)	0.028	0.069
	24 (金)	0.031	0.046
	25 (土)	0.031	0.066
	26 (日)	0.033	0.055
	27 (月)	0.040	0.064
	28 (火)	0.021	0.037
	29 (水)	0.033	0.066
	30 (木)	0.035	0.053
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.028	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.041	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.075	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[平成28年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (水)	1.1	2.0	N	WSW, N
	2 (木)	1.2	2.3	NNE	NNW
	3 (金)	0.7	2.2	WSW	CALM
	4 (土)	0.7	1.7	ENE	CALM
	5 (日)	1.5	2.9	E	ENE
	6 (月)	0.8	2.2	WSW	WSW
	7 (火)	0.8	1.3	ENE, ENE	ENE
	8 (水)	0.7	1.4	ENE, WSW	N
	9 (木)	0.7	1.3	WSW, NNE	N
	10 (金)	0.6	1.3	WSW	WNW
別	11 (土)	0.7	1.5	W	CALM
	12 (日)	1.0	2.8	NE	ENE
	13 (月)	0.8	1.5	NW, NW	NW
	14 (火)	0.5	1.6	ESE	CALM
	15 (水)	0.6	1.5	WNW	CALM
	16 (木)	1.0	2.8	ESE	E
	17 (金)	1.0	1.6	SW	WSW
	18 (土)	0.7	1.9	WSW	W, WNW
	19 (日)	0.4	1.0	N, ENE, ENE	CALM
	20 (月)	0.5	1.5	SW	CALM
値	21 (火)	1.0	1.7	ESE	WSW
	22 (水)	0.4	1.2	WSW	CALM
	23 (木)	1.4	2.6	SW	WSW
	24 (金)	0.9	2.0	SSW	NNE
	25 (土)	1.1	2.6	W	SW
	26 (日)	0.9	1.6	WSW	WSW
	27 (月)	0.8	2.2	W	WNW, CALM
	28 (火)	0.6	1.3	E	CALM
	29 (水)	0.5	1.1	E	CALM
	30 (木)	0.5	1.1	W	CALM
測定時間（時間）		720			
月平均風速 (m/s)		0.8			
月最大風速 (m/s)		2.9			
月最多風向 (16方位)		WSW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

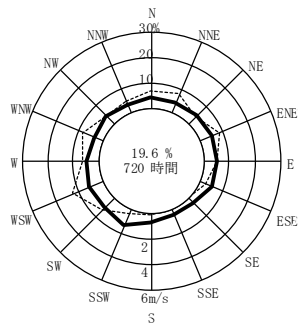
大気質様式第8号 (埋立地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成28年6月分]

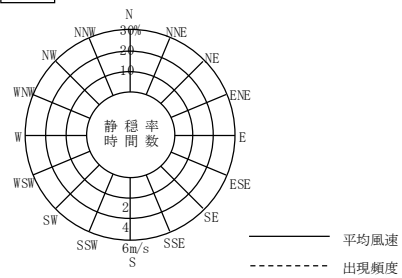
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	59	28	62	41	19	2	1	5	11	44	90	44	59	31	35	48	141	720
頻度 (%)	8.2	3.9	8.6	5.7	2.6	0.3	0.1	0.7	1.5	6.1	12.5	6.1	8.2	4.3	4.9	6.7	19.6	-
平均風速 (m/s)	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	0.6	0.5	0.7	1.3	1.0	1.1	0.9	0.7	0.8	0.7	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



凡例



風配図 [平成28年6月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成28年6月分]

調査日：平成28年6月1日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:00	8:30	9:20	10:15	9:50	—	—	
透明度 [m]	2.4	2.4	3.0	2.0	2.3	2.0 ~ 3.0	2.4	
水温 [°C]	20.1	19.1	18.7	20.5	19.2	18.7 ~ 20.5	19.5	
	17.7	17.6	18.1	17.9	17.9	17.6 ~ 18.1	17.8	
塩分 [-]	26.13	25.21	28.59	28.07	29.01	25.21 ~ 29.01	27.40	
	32.18	32.07	32.16	32.13	32.13	32.07 ~ 32.18	32.13	
濁度 [度(カリン)]	3.7	3.6	3.6	7.0	5.9	3.6 ~ 7.0	4.8	
	3.7	4.4	4.6	4.1	3.0	3.0 ~ 4.6	4.0	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	3	3	3	4	5	3 ~ 5	4	
	4	5	5	5	3	3 ~ 5	4	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.3	8.1	8.3	8.3	8.3	8.1 ~ 8.3	—	
	8.0	7.9	8.0	7.9	8.0	7.9 ~ 8.0	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.3	3.9	3.6	4.7	4.5	3.6 ~ 4.7	4.2	
	1.8	2.1	2.0	2.0	1.6	1.6 ~ 2.1	1.9	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.3	7.9	8.4	12	9.7	7.9 ~ 12	9.5
	飽和度 [%]	6.3	5.2	5.9	5.3	5.6	5.2 ~ 6.3	5.7
全窒素 (T-N) [mg/L]	120	99	107	157	125	99 ~ 157	122	
	80	66	76	68	72	66 ~ 80	72	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.60	0.65	0.42	0.68	0.64	0.42 ~ 0.68	0.60	
	0.29	0.34	0.28	0.32	0.29	0.28 ~ 0.34	0.30	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.068	0.073	0.047	0.093	0.090	0.047 ~ 0.093	0.074	
	0.037	0.064	0.044	0.057	0.048	0.037 ~ 0.064	0.050	
クロロフィル a (chl. a) [ $\mu$ g/L]	14	10	12	26	24	10 ~ 26	17	
	0.3	0.4	0.3	0.6	0.8	0.3 ~ 0.8	0.5	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------